事例



顧客：
Akershus Energi Varme、再生可能エネルギーの生産で約1世紀の経験を有するノルウェーの企業。

課題：
漏洩リスクと熱交換器のメンテナンス必要性を低減しつつ、エネルギー効率を高め、コストを削減する。

ソリューション：
老朽化したガスケット式熱交換器から堅牢でコンパクトなSWEPのろう付け式プレート熱交換器へ交換。

熱交換器：
この事例では、SWEPがシステムに3つの高容量B649 BPHEを設置しています。

結果：
エネルギー効率の向上、運用コストの削減、および環境フットプリントの低減。

Akershus Energi VarmeとSWEPが地域エネルギーシステムの信頼性と効率性を高める

SWEP
A DOVER COMPANY

地域暖房の要求に応えるための設計

2024年から2025年にかけ、Akershus Energi Varmeは、大型のガスケット式プレート熱交換器3基を、コンパクトで高容量のSWEP B649ろう付け式プレート熱交換器（BPHE）に置き換えました。これは戦略的なアップグレードであり、同社の地域暖房インフラを大幅に改善するものでした。

B649ユニットのろう付け構造により、ガスケットが不要となり、メンテナンスコストの削減と漏洩リスクの低減を実現しました。BPHEの高効率設計により、材料のより大きな割合が熱伝達に使用されるため、エネルギー効率の向上をもたらします。この効率性は、運用コストの削減と環境フットプリントの低減につながるため、Akershus Energiのサステナブルなエネルギーソリューションへの取り組みに沿うものです。

SWEP BPHEの役割

SWEP B649モデルは、高い動作圧力に対応するように設計されており、同時に近接温度アプローチも提供します。その優れた能力と相まって、これらの特長により、地域暖房の用途に最適です。各製品は最大17 MWの熱エネルギーを移動させることが可能です。B649は、その大きな容量にもかかわらず、設置面積が最小限に抑えられており、これはスペースが限られている施設においては重要な考慮事項です。

SWEPを選択した理由は？

B649のコンパクト設計は、従来のガスケット式プレート熱交換器と比較して、設置が容易であり、システム設計における柔軟性が改善されています。Akershus Energiの地域エネルギーシステムへの新型SWEP B649製品の導入は、ノルウェーにおけるSWEP正規販売代理店であるHeatCon Varmeteknikkによって進められました。HeatConは調達と設置のプロセスにおいて中心的な役割を果たし、円滑な熱伝達を確保するとともに、既存システムに対する新しい熱交換器の最適な統合に努めました。その専門知識とサポートは、プロジェクトの目標達成に大きく貢献しました。



SWEP B649のろう付けプレート式熱交換器は既存のシステムにシームレスに適合し、以前設置されていた大型のガスケット式プレート式熱交換器を置き換えます。



Akershus Energiは、大型のガスケット式プレート熱交換器3基を、SWEPのコンパクトで高容量のB649ろう付けプレート式熱交換器に置き換えることで、地域暖房インフラをアップグレードしました。

Akershus Energi Varmeの詳細

Akershus Energiは水力発電事業者として創業し、流れる水からクリーンな再生可能エネルギーを生み出しています。現在、Akershus Energiは水力発電に加え、バイオエネルギー、地域暖房、地域冷房、太陽光、風力、水素など、幅広い再生可能エネルギー源に事業を展開させています。

Akershus Energiは、100年にわたる経験と専門知識を基盤として、再生可能エネルギー分野における事業拡大を続けています。その子会社であるAkershus Energi Varmeは、2005年に設立されました。現在、5つの地域暖房ネットワークと1つの地域冷房ネットワークを運営し、重要な製品とインフラストラクチャを提供しています。



SWEP B649モデル